

「超高齢社会における東京のあり方懇談会」の設置

現 状

- ・ 2015年の東京の高齢者人口は301万人。高齢化率22.7%
- ・ 2025年には高齢者人口は326万人、高齢化率23.3%
いわゆる団塊の世代が全て75歳以上に。

設置目的

- ・ 超高齢社会の様々な課題が先鋭的に現れる東京において、福祉、住まい、経済など、様々な分野の専門家により分野横断的・包括的な検討を行っていただく。



東京ならではの地域モデルを提言

「超高齢社会における東京のあり方懇談会」委員

- くろかわ きよし
• **黒川 清**
(特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
政策研究大学院大学名誉教授)

- すずき わたる
• **鈴木 亘**
(学習院大学経済学部教授)

- そのだ まりこ
• **園田 真理子**
(明治大学理工学部教授)

- なかむら しゅういち
• **中村 秀一**
(一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院教授)

- のりたけ りょうじ
• **乗竹 亮治**
(特定非営利活動法人
日本医療政策機構事務局長)

- はやし ちあき
• **林 千晶**
(株式会社ロフトワーク代表取締役)

- ほった さとこ
• **堀田 聡子**
(慶應義塾大学大学院教授)

五十音順
敬称略

「超高齢社会における東京のあり方懇談会」(第1回)

日時

平成29年11月8日(水) 10:30~12:00

場所

都庁第一庁舎 7階会議室

内容

超高齢社会を迎えた東京の課題についての意見交換